

平成23年3月期 決算について

平成23年5月25日
JFE鋼板株式会社

平成23年3月期の連結業績(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 特別損益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|------|---|-------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期 | 60,926 | 3.6 | 498 | - | 1,560 | - | 1,180 | - |
| 22年3月期 | 58,789 | 30.9 | 502 | - | 397 | - | 531 | - |

注 連結子会社数 23年3月期 5社、22年3月期 5社
持分法適用関連会社数 23年3月期 2社、22年3月期 2社

(参考)個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 特別損益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|------|---|-------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期 | 54,549 | 3.9 | 391 | - | 1,570 | - | 1,214 | - |
| 22年3月期 | 52,483 | 32.2 | 469 | - | 391 | - | 460 | - |

【当期の概況】

当社の主な販売先である建材関係の需要は、前年度の極端な落ち込みから若干の回復傾向は見られたものの、依然として不振が続いております。年度前半には、当社の主要原材料である原板の高騰をうけて、当社のお客様にもご理解をいただきながら販売価格の改定を進めました。年度後半には建材関係需要が更に厳しくなり、販売価格に対する押下げ圧力が強く働きましたが、結果的に、通期の売上高は3.6%の増加となりました。なお、東日本大震災により当社は一部設備に被害を受けましたが、他の設備での代替により、3月の生産・販売への影響は最小限に抑えることが出来ました。

【当期の損益】

経常利益につきましては、当社松戸製造所の閉鎖と東日本製造所(京浜)への生産集約、本社移転による業務効率化と資産の有効活用、様々な新商品の開発と販売、ハイデッキの事業体制の見直し、ゼロベースでの徹底的なコスト削減などの収益改善努力により、5.0億円の利益を計上いたしました。

特別損益には、旧本社ビルの売却益、東日本大震災による資産の滅失損失などを計上し、税引後の当期純利益は11.8億円となりました。

【次期の見通し】

景気は依然として低迷が続いており、原材料価格、商品市況の先行きが不透明なことに加え、東日本大震災の影響が見通せない状況ですが、収益改善努力を継続して、23年3月期を上回る黒字を目指します。

4月からの原板値上げに伴い、当社は自助努力分を差し引いたトン当たり28千円の販売価格アップをお客様にお願いしております。

以上